

2026年5月19日
株式会社日立製作所

日立、Anthropic と戦略的パートナーシップを締結し、 先進的な AI の活用により Lumada 3.0 を強化

- ・ 110年以上のドメインナレッジと先進的な AI を融合、フィジカル AI の安全な社会実装を通じてお客さまの AX を牽引
- ・ 日立グループ約 29 万人の全ビジネスプロセスで先進的な AI を活用し生産性を向上
- ・ 10 万人規模の AI プロフェッショナル人財を育成、カスタマーゼロでの成果をもとに HMAX を共同開発・高度化
- ・ 北米・欧州・アジア横断のグローバル組織「Frontier AI Deployment Center」設立、専門家チーム 100 人配備

HITACHI

ANTHROPIC

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、社会課題を解決する事業モデル「Lumada 3.0」のさらなる強化に向け、AI の安全性に関する研究と信頼できる AI モデルの提供で世界をリードする Anthropic PBC(以下 Anthropic)との戦略的協業を開始しました。

現在、AI 技術はサイバー空間から実世界へ影響を与えるフィジカル AI へと進化しており、ミッションクリティカルな現場においても、AI を安全かつ円滑に実装・運用したいというニーズが急速に高まっています。本提携により、両社は、日立が 110 年以上にわたり培ってきた深いドメインナレッジや IT・OT(制御・運用技術)・プロダクトの知見と、Anthropic の先進的な AI を融合することで、電力・交通・製造・金融といった社会インフラの円滑かつ安全な運用に向けた、システム開発・運用の高度化やセキュリティ強化を強力に推進し、お客さまと社会の AI トランスフォーメーション(以下、AX)に貢献します。

また、こうしたお客さまへの提供価値を最大化するため、日立と Anthropic は自社の AX による業務改革も推進します。日立グループ約 29 万人の全ビジネスプロセスに Claude など先進的な AI を導入し生産性を向上させるとともに、10 万人規模の AI プロフェッショナル人財の育成を共同で図ります。日立は、この自社での実践をカスタマーゼロと位置づけ、その成果をもとに、AI で社会インフラの革新を実現する次世代ソリューション群「HMAX by Hitachi(以下、HMAX)」のさらなる高度化を図ります。

世界 190 カ国地域に広がる顧客への価値提供と自社実践をグローバルで推進する中核として、日立は北米・欧州・アジアを横断するグローバル組織「Frontier AI Deployment Center」を設立します。本組織の最初の取り組みとして、Anthropic の Applied AI 担当者と日立の IT・OT・プロダクト、セキュリティの専門家からなる共同チームを始動させ、両社の専門知識を結集します。

今後、日立は本組織を起点に、社会実装のベストプラクティスを創出しながら、お客さまの現場での価値創出を加速させ、AI を活用したハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。

背景

現在、AI 技術はサイバー空間に留まらず、実世界に直接働きかけるフィジカル AI へと急速に進化しています。これにより、製造・保守、インフラ運営などを支えるフロントラインワーカーの深刻な人手不足や負担増といった社会課題を解決し、実社会における真の DX を推進できる環境が整いつつあります。日立は、社会イノベーションをグローバルに推進する企業として、この課題解決を重要な使命と捉えています。

日立は、グローバルに展開する IT・OT・プロダクトから得られるデータに、長年培ってきた深いドメインナレッジと AI を掛け合わせて社会課題を解決する Lumada 3.0 を推進しています。一方で、AI が実社会のインフラや現場に深く入り込むほど、そこには極めて高い安全性と信頼性が不可欠となります。今回、その要件を満たし、エンタープライズ領域での豊富な実績を有する先進的な AI モデル Claude を提供する Anthropic と戦略的パートナーシップを締結することで、Lumada 3.0 を体現する HMAX を強化し、現場で働く人々のエンパワーメントを強力に推進していきます。

戦略的パートナーシップの概要

(1) Anthropic 「Claude」と日立のケイパビリティ融合による AX 加速

Anthropic の Claude が持つ高度なコード生成・解析能力と、日立が持つミッションクリティカル領域でのシステムエンジニアリング力を融合させることにより、お客さまのシステム開発・運用の効率と品質の飛躍的な向上を実現します。これにより、変化の激しい市場環境において、お客さまの迅速な新サービス立ち上げやデータ主導のビジネス変革といった AX を強力に後押しします。また、金融、交通、電力といった重要インフラを対象に、セキュリティ専門組織「Cyber CoE」と Anthropic が緊密に連携することで、サイバー攻撃の検知や対応を高度化します。社会インフラのサイバーレジリエンスを抜本的に強化、AI を安心・安全に実装できる堅ろうな環境を提供することで、社会全体の AX 加速に貢献します。

(2) 日立グループ全体の業務改革

日立は、世界最大級の Claude 活用実践企業となるべく、日立グループ約 29 万人を対象に、全ビジネスプロセスでの先端 AI 活用を推進します。具体的には、Anthropic の Claude を活用し、①ソフトウェア開発における工数削減、②コーポレート業務の効率化、③ハードウェアの保守・運用業務の自動化(障害対応や手順書作成など)といった領域で生産性向上を実証しながら、営業、企画部門など非エンジニアも含めたあらゆる職種で業務改革を加速させます。この大規模な自社実践の中で、10 万人規模の従業員が AI を日常業務で高度に活用する AI プロフェッショナル人財となるための育成・実践プログラムを開始します。日立は、このカスタマーゼロとしての取り組みを通じて得た、実践的な知見やノウハウを、お客さまへの提供価値へと還元していきます。

(3) HMAX の高度化

日立が 110 年以上にわたり培ってきた OT やプロダクトの知見と、先進的な AI を掛け合わせ、HMAX の高度化を図ります。高い安全性と信頼性を備える Anthropic の AI で HMAX を強化し、ミッションクリティカルな現場における AI の適用範囲を大きく拡大します。具体的には、高い推論能力を持つ Claude を HMAX の各ソリューションに積極的に取り入れることで、例えば、「自然言語による直感的な設備管理」を通じたダウンタイムの極小化や、「高度なアルゴリズムによる保全業務の最適化」による運用コストの削減など、現場の課題を解決し、お客さまのビジネスの強靱化と持続可能なインフラ運営に直結する価値を創出します。

(4) グローバル組織「Frontier AI Deployment Center」を通じた価値創出の加速

社会イノベーションを牽引するため、日立は AI 協業エコシステムの中核となるグローバル組織「Frontier AI Deployment Center」を始動します。本組織において、今回まず Anthropic の Applied AI 担当者として、日立の

IT・OT・プロダクトやセキュリティの専門家からなる共同チーム(約 100 名から 300 名規模を目標に順次拡大)が参画し、両社の知見を融合させます。これにより、フィジカル AI 領域におけるユースケースの協創、技術実装支援、そしてソリューション開発を強力に加速させます。

日立製作所 執行役副社長 デジタルシステム&サービス部門長 阿部 淳のコメント

日立は、社会イノベーション事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してきました。現在、労働人口減少にともないフロントラインワーカーの課題が顕在化しています。今回の戦略的パートナーシップを通じて、Anthropic の極めて信頼性の高い AI 技術と日立が有するミッションクリティカル領域のドメインナレッジや IT・OT・プロダクトのケイパビリティを融合させることでお客さまと社会の課題を共に解決していけることを大変うれしく思います。私たち自らが実践者として先進的な AI を活用しながら、「社会インフラをデジタルで革新し続けるグローバルリーダー」として、お客さまの現場(フロントライン)の変革と実社会における真の DX を共に推進し、ハーモナイズドソサエティの実現をめざしていきます。

関連リンク

[HMAX | Lumada : 日立](#)

商標注記

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、社会インフラをデジタルで革新し続けるグローバルリーダーをめざし、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エネルギー、モビリティ、コネクティビティインダストリーズの 4 セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略 SIB ビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumada をコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2025 年度(2026 年 3 月期)売上収益は 10 兆 5,867 億円、2026 年 3 月末時点で連結子会社は 606 社、全世界で約 29 万人の従業員を擁しています。詳しくは、www.hitachi.com/ja-jp/をご覧ください。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所
AI&ソフトウェアサービスビジネスユニット

<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>